

IT入

『攻め』の車番認証



- 読取り精度の向上
- 最大5ヶ所の入退場をカバー
- 即時発行の分析レポート機能
- 地域防犯にも寄与



アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービス株式会社

■ 本社 〒590-0831 大阪府堺市堺区出島西町3-11

- 東京支社 TEL.03-5800-0717
- 名古屋支店 TEL.052-777-0030
- 福岡支店 TEL.092-432-3130
- 札幌営業所 TEL.011-231-3600
- 仙台営業所 TEL.022-246-9110
- 金沢営業所 TEL.076-292-2250
- 広島営業所 TEL.082-264-2424
- 四国営業所 TEL.0877-98-4912
- 熊本S.S. (福岡支店が承ります)



072-243-6666

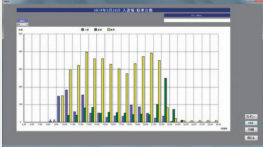
FAX.072-243-6606

<http://ita-video.co.jp/>

新機能

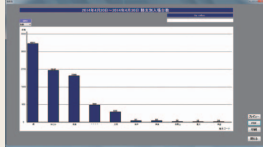
来店車両に関する7種類の分析レポートをその場で発行

① 時間別



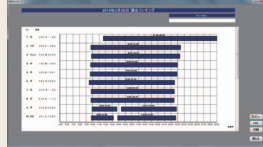
指定日の入場車両、退場車両、駐車車両を1時間単位のグラフで表示。

② 陸支別



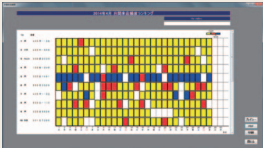
指定期間内の来場車両を陸支別別にグラフ表示。

③ 滞在ランキング



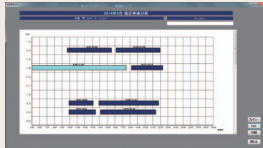
指定日の来場車両を、駐車(滞在)時間の長いものから順にグラフ表示。

④ 月間来店頻度



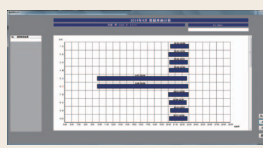
指定月に来場した車両を、来場回数の多いものから順にグラフで表示。

⑤ 指定車両分析



指定した車両が指定月内の何日何時に入退場したかをグラフ表示。

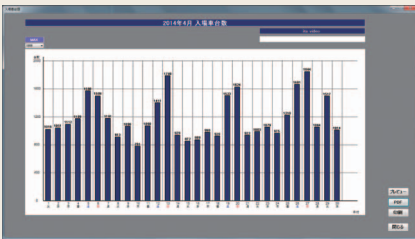
⑥ 登録車両分析



登録している車両が指定月内の何日何時に入退場したかをグラフ表示。

⑦ 入場車台数

指定月各日の来場車両をグラフ表示。



必要な条件を指定すると、即時に分析結果をグラフで表示します。各レポートは印刷やPDFとして出力保存することもできます。

ゴト対策から地域防犯、集客戦略まで 強力バックアップ

設置している遊技台と同じ数の駐車スペースを持つ店舗は珍しくない。駐車場の完備は確実に商圏を広げ、郊外店やロードサイド店舗では、車での来店者がその日の総集客数に迫る。

駐車場を出入りする車両もまた「情報」にほかならない。ここからポテンシャルを引き出し、店舗運営を力強くバックアップしてくれるのが、アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービス(株)の車番検索システム『車BAN(シャバ)』だ。

駐車場ゲートに設置したカメラでナンバープレートを読み取り、陸支局、車種、事業コード、一連番号を入退場時刻とともにデータベース化。

来場車両をリアルタイムで表示するほか、特定車両の来場を「VIP」「要注意」「他府県」などの分類で通知する。ナンバー情報や期間、分類、ゲート区分などの条件で車両を検索し、検索結果は動画で確認することができる。

ゴト集団は活動範囲が広く、車で対象店舗を下見している場合が多い。そのため他府県ナンバーの来場ログに不審点がないか、前後の履歴や来場時映像を一念にチェックしている店舗もある。

ことが警察沙汰ともなれば、容疑者のナンバー情報は極めて有力な手がかりとなる。所轄警察の要請で行ったナンバー照会から、自動車盗、プレート盗の検挙につながり、感謝状を受けたという例も二度三度に留まらない。

地域防犯への積極参加を目的として、導入する店舗もあり、多

業界最高水準 最大5カ所の出入口に対応



ゲート1カ所につき、入退場用で各1台ずつのカメラを設置。サーバを増設することで、最大5ヶ所(カメラ10台)まで対応。

数の所轄警察官が同席するなかで、操作デモを行ったケースもあるという。

遠来ナンバーにプロ・セミプロが多いと感じている店舗では、近隣ナンバー以外の来場にアラートを出し、スタッフがマークしたり、入店実態のない頻繁な長時間駐車の締め出しにも活用される。

また従来の車番システムには実装されていなかった機能として、分析レポートの作成機能がある。月間来店頻度や滞在時間ランキングなど、全7種類の分析レポートを簡単な操作で即時に出力できる。空車を埋めることが、業績を大きく左右する全ての店舗で、集客戦略の切り札となりそうだ。